

一般国道1号
関^{せき}バイパス
(道路事業)

説明資料

平成28年9月30日

中部地方整備局
北勢国道事務所

目 次

1. 一般国道1号関 ^{せき} バイパスの事業概要	
(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	P 3
①交通渋滞の緩和	P 3
②地域への支援	P 3
③ストック効果事例	P 4
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 5
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 5
5. 対応方針(原案)	P 5

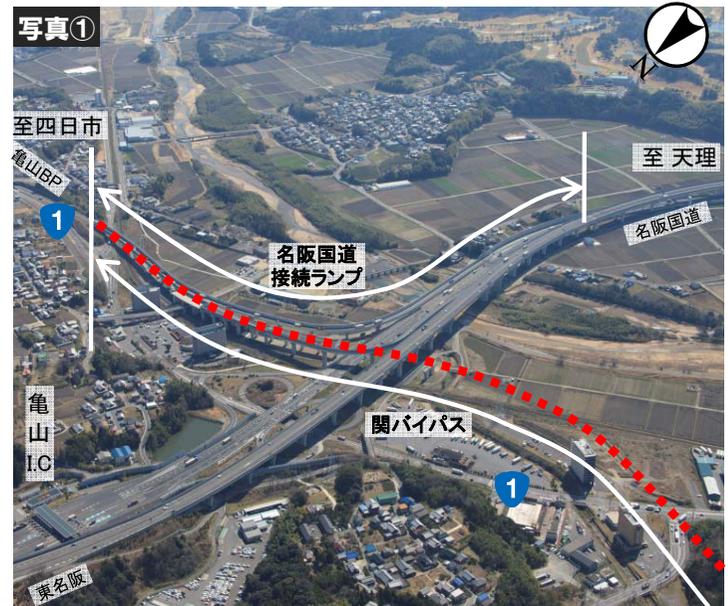
1. 一般国道1号関バイパスの事業概要

(1) 事業目的

一般国道1号関バイパスは、三重県亀山市太岡寺町から亀山市関町鷺山に至る延長2.5kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、地域経済の支援を目的に計画された道路です。

並行する一般国道1号現道では、主要渋滞箇所や、隣接する工業団地および主要な観光地へのアクセスなどの課題があり、こうした課題解決のために別線バイパスを整備するものであり、交通の円滑化、物流の効率化等の効果を見込んでいます。

関 バ イ パ ス の 全 体 位 置 図



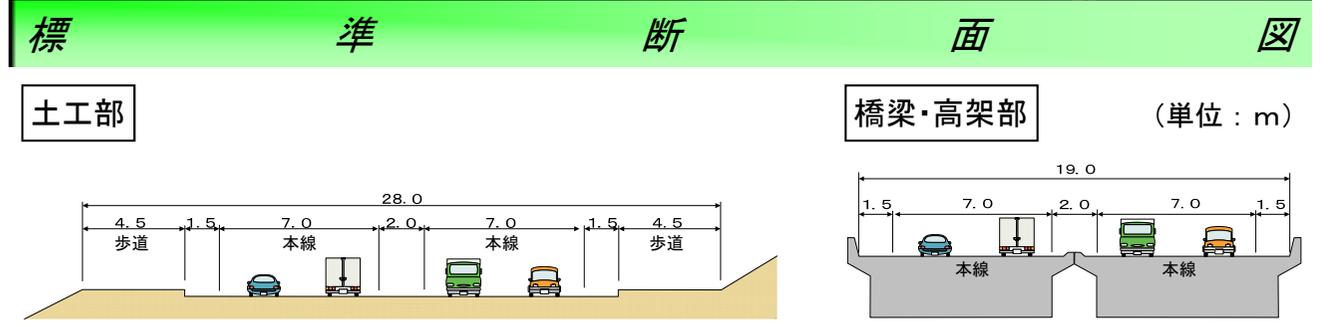
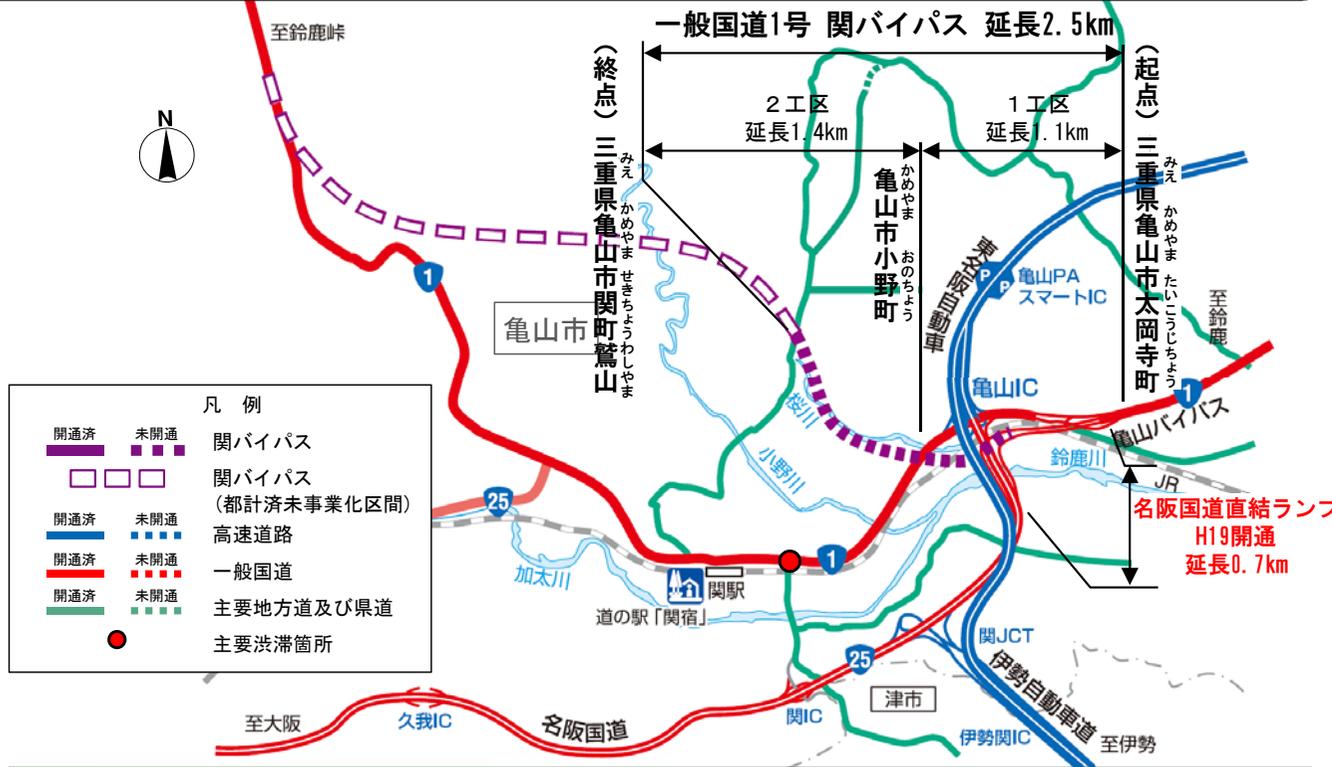
凡例		
開通済	未開通	関バイパス
開通済	未開通	関バイパス (都計済未事業化区間)
開通済	未開通	高速道路
開通済	未開通	一般国道
開通済	未開通	主要地方道及び県道
		● 主要渋滞箇所
		■ 工業団地
		■ 主要な観光地

1. 一般国道1号関バイパスの事業概要

(2) 計画概要

せき かんバイパスは、延長2.5kmのうち、1工区(亀山市太岡寺町～亀山市小野町 延長1.1km)は平成8年度に、2工区(亀山市小野町～亀山市関町鷺山 延長1.4km)は平成15年度に事業化し、国道25号名阪国道と直結するランプ部(延長0.7km)は平成19年度に開通しています。

事業名	一般国道1号 関バイパス
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
都市計画決定	平成8年度
事業化	1工区:平成8年度 2工区:平成15年度
用地着手年度	平成12年度
工事着手年度	平成14年度
延長 (平成27年度末)	2.5km (名阪国道接続ランプ部開通済)
前回の再評価	平成25年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	250億円
B/C	1.3 (平成25再評価時)



2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

①交通渋滞の緩和

1) 事業を巡る社会情勢の変化

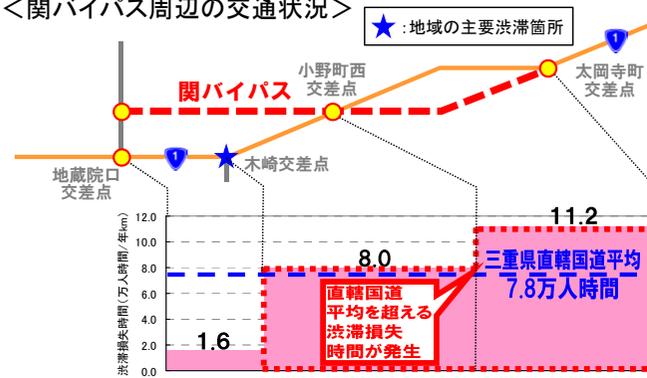
● 関バイパスに並行する国道1号は、主要渋滞箇所が1箇所あり、渋滞損失時間が三重県平均を超過する区間が存在。

2) 事業の投資効果

○ 関バイパスの整備により、並行する国道1号の渋滞損失時間が約5割減少する見込み。

1) 事業を巡る社会情勢の変化

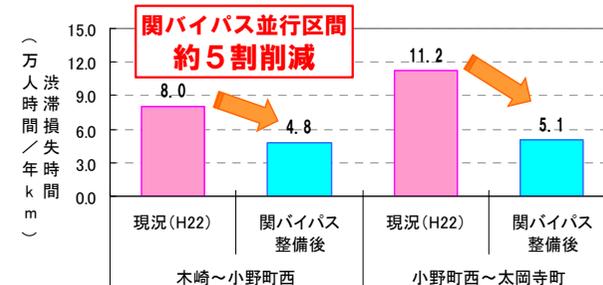
< 関バイパス周辺の交通状況 >



出典：渋滞損失時間(H22)国土交通省資料

2) 事業の投資効果

< 国道1号の渋滞損失時間の削減効果 >



※ 渋滞損失時間の算定方法
 現況(H22)：渋滞損失時間データ
 関バイパス整備後：交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乘じて算定。

②地域への支援（産業）

1) 事業を巡る社会情勢の変化

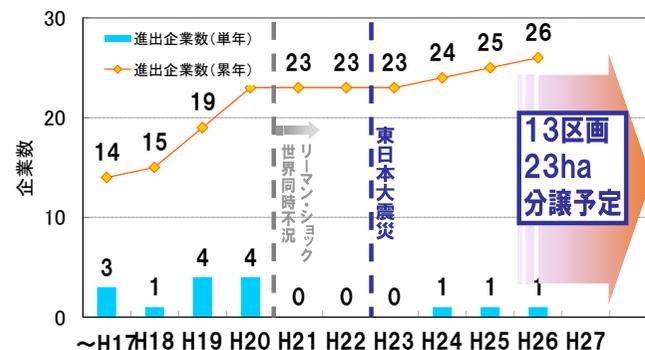
● 東日本大震災を契機として、災害に対するリスク分散により隣接の工業団地への企業進出の動きが顕在化(26社進出)、現在も残る13区画を分譲。

2) 事業の投資効果

○ 関バイパスの整備により、隣接する工業団地～四日市港・石油化学コンビナート間の所要時間が7分短縮し、工業団地のアクセス性が向上。

1) 事業を巡る社会情勢の変化

< 工業団地の企業進出の推移 >



出典：亀山・関テクノヒルズWEBサイト(H27.3現在)、亀山市WEBサイト

2) 事業の投資効果

< 四日市港・コンビナート⇄工業団地間の所要時間短縮 >



※ 所要時間の算定方法
 現況は民間プローブデータ(H27)一般道路平日12時間平均速度、関バイパス整備後は関バイパスを設計速度(60km/h)にて計測

②地域への支援（観光）

1) 事業を巡る社会情勢の変化

● 「関宿」は、亀山市が歴史的な街並み保存や景観整備を進めている重要な地域資源。観光アクセスとして利用されている国道1号は、工業団地を発着する大型貨物車が多く利用し、観光交通と混在。

2) 事業の投資効果

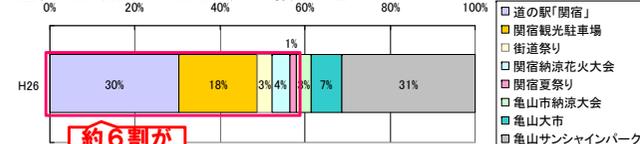
○ 関バイパスへの大型貨物車の交通転換により、国道1号の交通流が適正化し、観光交通のアクセス性や周遊性の向上に寄与。

1) 事業を巡る社会情勢の変化

< 関宿の街並みと観光資源 >



< 施設別観光入込客数の構成比 >



出典：観光レクリエーション入込客数推計書

2) 事業の投資効果



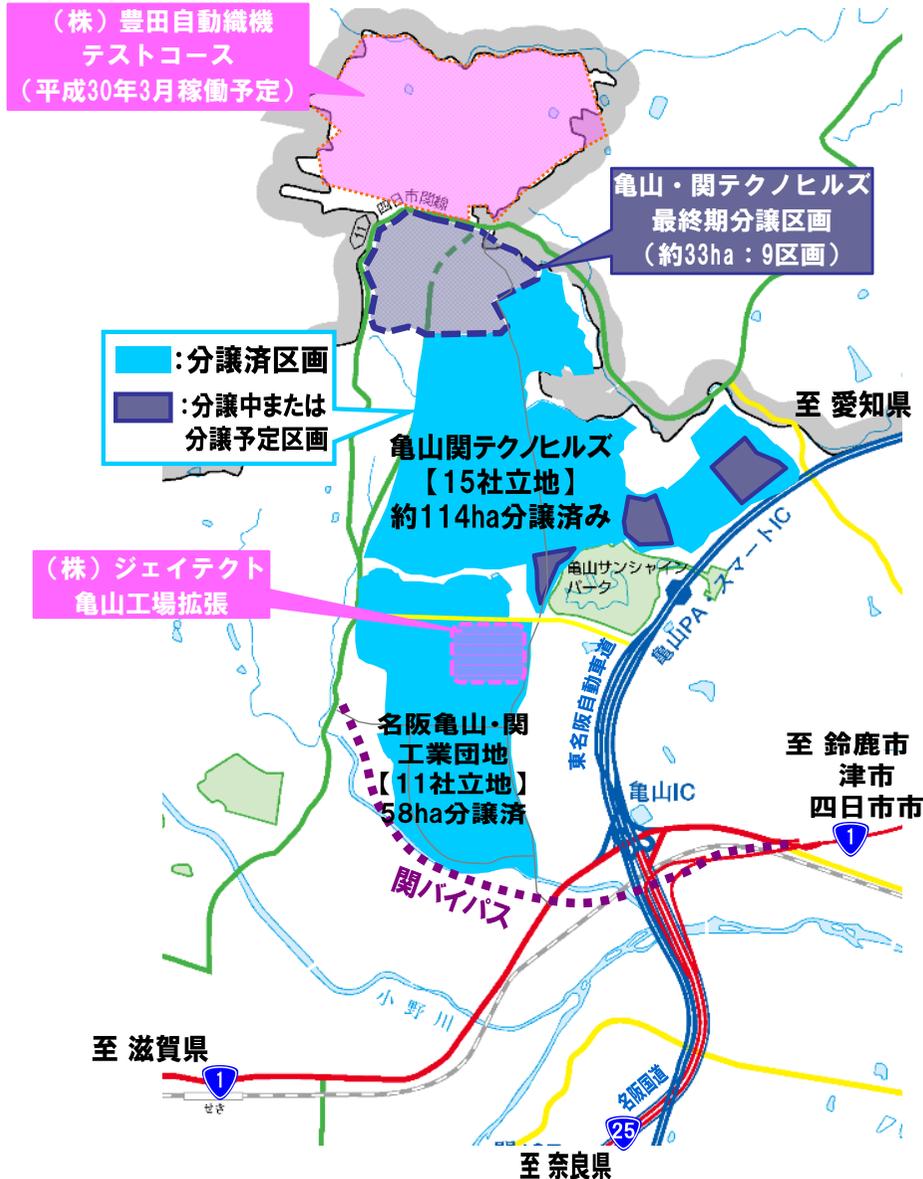
< 亀山市観光協会の声 >
 ・市内の周遊では1号を利用して行き来しており、ゆったりとした雰囲気を楽しんで頂くために、関バイパスの整備を期待している。

2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

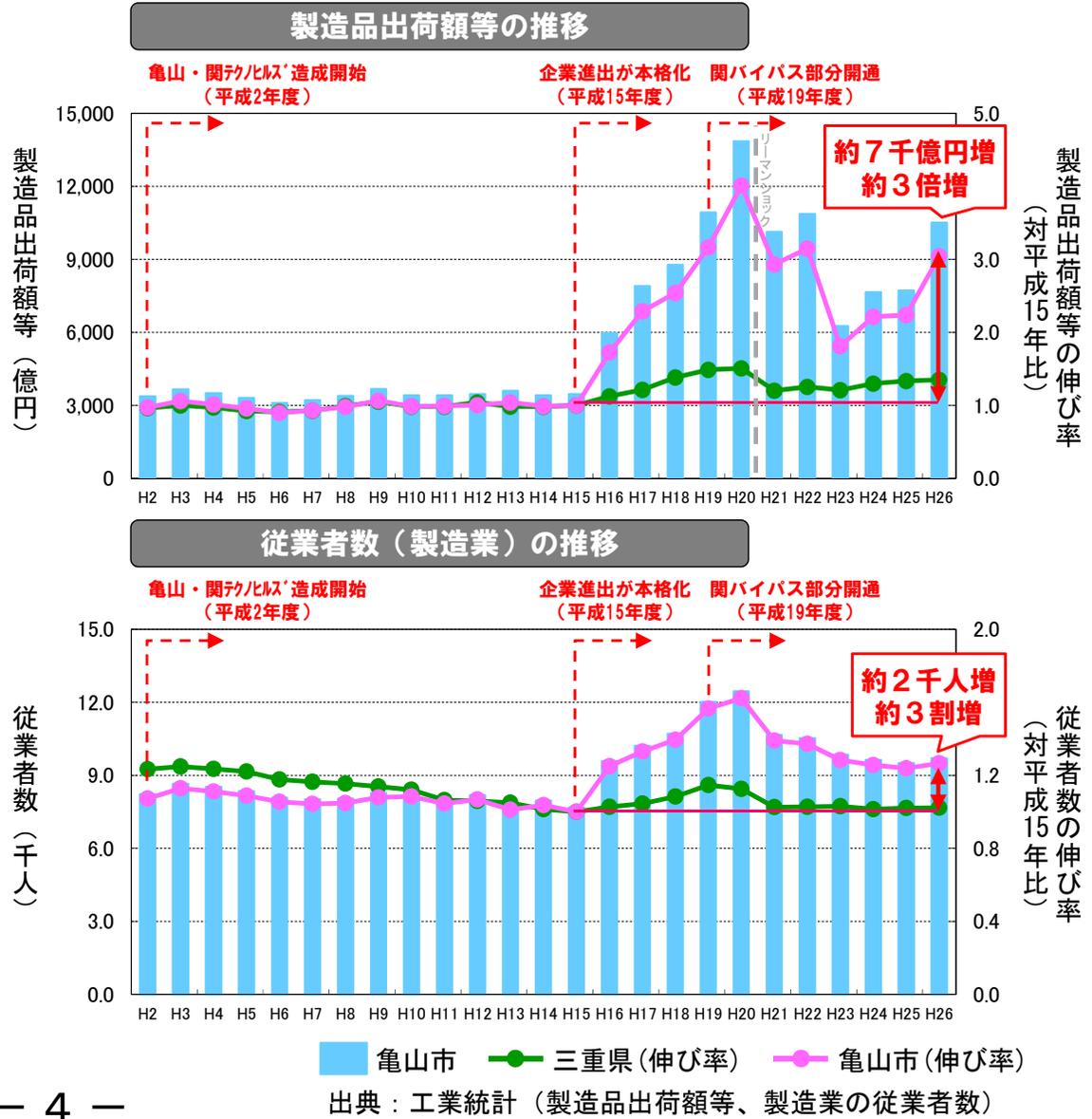
③ストック効果事例：沿線地域の産業支援

- 亀山市は中部と近畿を結ぶ交通結節点で、関バイパス沿線地域における工業団地への企業誘致を促進しています。
- 企業進出が本格化する以前と比較して、製造品出荷額等は約7千億円(約3倍)増加し、従業員(雇用)も約2千人(約3割)増加しています。
- 関バイパスは、地域経済の成長や雇用に直結する企業誘致を支援し、持続可能な都市の実現に寄与します。

○関バイパス沿線地域の工業団地における今後の動向



○沿線地域の産業・経済の発展



3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は67%、用地取得率は96%に至っています。(平成27年度末)
(参考) 前回評価時: 事業進捗率は67%、用地取得率は96%(平成24年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

- 亀山市太岡寺町から亀山市関町鷺山(延長2.5km)は、周辺道路の整備状況等を見極めながら整備を実施します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■ 三重県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。

本事業は、交通混雑の緩和や地域経済の発展に寄与できる重要なバイパス事業です。今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、早期供用に向けた事業の推進をお願いします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道1号関バイパスの事業を継続する。